

学校 教育 目標	夢に向かってともに歩み 未来を拓く日下小学校 知: 考えてよく励み やりぬく子を育てます。 徳: なかよくつよくのびゆく子を育てます。 体: 健康な肩を組み 互いのいのちと体を大切に育てます。 公・開: 自立の意気を見せ 日本の明日を担う子を育てます。				
	学校 概要	創立 121 周年	学校長 皆川 誠	副校長 沖 なおみ	2 学期制 一般学級: 18 個別支援学級: 4
児童生徒数: 581 人		主な関係校: 田な関係校: 笹下中学校、上大岡小学校、南台小学校口			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	笹下中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<p>チャレンジする心</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いや願いをもって主体的に行動する。 人につながる力 ・人とのかかわりを大切にし、それをつないだり、広げたりする力を育てる。 	<p>笹下中学校 南台小学校 上大岡小学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・つながりを大切にし、自他を思いやった言動のとれる子ども ・めあての実現に向けて、自信をもって主体的にチャレンジできる子ども ・小中合同研修会等を通して児童生徒の支援計画を共有し指導の充実を図る。 ・授業交流を通して小学校教員、児童と中学校教員がつながる。 ・授業を保護者、地域に公開し、保護者、地域とつながる。 ・子どもが主体的に学びに向かうことや、子ども同士ですすんでつながることができる雰囲気づくり、環境づくり、居場所づくりに努める。

中期 取組 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員は、子どもがいきいきと自信をもって学べる学校づくりを推進します。 ・地域のあいさつ運動と連携して、自ら進んであいさつができる子どもを育てます。 ・異学年ペア活動を通して子どもが自分のよさや友達のよさを認め合い、高め合えるように寄り添った指導をします。 ・地域の教育力を活用し、子どもに豊かな教育活動が提供できるようにします。 ・児童指導の課題、いじめ防止について教職員で共有し、チームで対応する体制づくりを整えます。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
知 生きてはたらく知	<ul style="list-style-type: none"> ○知識・技能を身に付けるとともに、それらを活用して主体的に問題解決をしたり学びを深めたりできるように、カリキュラムを見直しながら授業づくりを進めます。 ○子ども同士であるいは地域の方々をはじめ多様な他者と協働しながら学ぶ場づくり、考えをより深められるように工夫します。
担当 評価・重点研究委員会	
徳 豊かな心	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員や児童会など学校全体の取り組みを通し、あいさつが自分から自然にできる子どもの育成を目指します。 ○特別の教科道徳の授業において、道徳的価値をしっかりとらえ、自己を見つめたり他者を理解したりする指導をします。 ○ペア活動を工夫して行い、それぞれの学年のよさを互いに認め合い、尊重する気持ちを育てます。
担当 児童指導委員会	
体 健やかな体	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい生活様式の中で、体育の授業づくりを工夫して行い、進んで運動に取り組める子の育成に努めます。 ○委員会活動等で外遊びを中心とした集会を計画し、積極的に運動する機会を設定します。感染症対策を行い、自分や友達のかかわり方や健康保持について意識を高めます。
担当 体力向上委員会	
公 開 地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ○地域のあいさつ運動と連携し、あいさつの習慣を身に付け、相手を意識したコミュニケーション能力を高めます。 ○野菜作り等地域の教育力を活用するとともに、地域ケアプラザや地域の団体とかかわる活動を通して、まちやまちの人のよさに子どもが自ら気付いていくことができるようにカリキュラムの工夫をします。 ○学援隊と連携して、登下校の子どもの安全見守りを協力して行います。
担当 教務部	
いじめへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ○毎月のいじめ防止対策委員会で、教職員で情報共有し、いじめの早期発見と迅速な対応に努めます。また、小さな事案でも丁寧に指導することで 児童のいじめ防止に対する意識を高め、未然防止に努めます。 ○児童に生活アンケート年2回実施し、実態把握をすすめ、早期対応に努めます。
担当 児童指導委員会	
人材育成・ 組織運営(働き方)	<ul style="list-style-type: none"> ○メンターチーム研修を定期的に行えるように位置付け、学級経営や授業づくりのポイントを高め合います。 ○必要な情報は文書ではなく、データで管理し、いつでも閲覧できるようにします。 ○学年研究会を充実させ、教材研究、教材開発、学習評価等共有することで授業づくりの効率化と授業力向上に努めます。
担当 教務部	
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ○個別支援学級の交流を通して子ども同士の理解を深め、互いに尊重し合える関係をつくります。 ○個別取り出しの枠を広げて、一人ひとりのニーズに合った学習支援に取り組みます。 ○国際教室担当と担任とで定期的に情報交換し、外国籍や外国につながる児童の学習指導やコミュニケーション活動の支援をしていきます。
担当 特別支援委員会	
児童生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ○一つひとつの事案に丁寧に対応し、児童に寄り添った指導を行います。また、情報を教職員全体で共有し、児童の課題を把握し、迅速な対応に努めます。 ○子どもの規範意識を高めるために、日下小スタンダードを全職員で共有し、児童にルールやきまりを守る姿勢を育てます。 ○YPアセスメントを取り入れ、年2回のアンケート結果を基にして、一人ひとりの児童の思いや特性をつかみながら、よりよい学年・学級経営に活用します。
担当 児童指導委員会	
自分づくり教育	<ul style="list-style-type: none"> ○ペア活動を通して、自分のよさや友達のよさを認め合い、それぞれの役割や相手を尊重する気持ちを育て、達成感を味わうことで自己肯定感を高めます。 ○各学年ごとに目標を設定したり、振り返り活動をしたりして 自分の成長を実感できるように記録に残していきます。(自分づくりパスポート)
担当 評価委員会	
人権教育	<ul style="list-style-type: none"> ○学年目標の中で人権の視点に沿った取組目標を設定し、児童とともに具体目標について話し合い、それぞれの発達段階に応じた活動や内容を考えて取り組み、振り返ることで、人権意識を高めていきます。 ○一人ひとりの学びを大切に、いろいろな考え方を安心して出し合い、認め合えるように授業を工夫します。
担当 人権教育委員会	